

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 7 月 4 日(2022.7.4)

【公開番号】特開 2020-168282(P2020-168282A)
 【公開日】令和 2 年 10 月 15 日(2020.10.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-042
 【出願番号】特願 2019-72832(P2019-72832)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 24 日(2022.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 表示手段と、

前記表示手段を用いて演出識別情報を可変表示する可変表示演出手段と、

前記表示手段を用いて段階的な表示態様の变化により、前記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆表示を表示する示唆表示演出手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を
 備え、

30

前記示唆表示演出手段は、前記示唆表示を一旦消去した後に再度表示することが可能であり、
 前記示唆表示を再度表示するときに、一旦消去する前に実行された特定演出が再度実行された後、
 一旦消去する前よりも前記有利状態に制御される期待度が高い段階に変化した前記示唆表示を表示することが可能であり、

前記可変表示演出手段は、前記示唆表示が一旦消去された状態において、前記演出識別情報を継続して可変表示し、

前記示唆演出実行手段は、前記示唆演出として、前記有利状態に制御されることを報知する特別示唆演出を実行可能であり、

前記特別示唆演出として、第 1 特別示唆演出と、該第 1 特別示唆演出と演出態様が異なる第 2 特別示唆演出と、を含む、

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
表示手段と、

前記表示手段を用いて演出識別情報を可変表示する可変表示演出手段と、

50

前記表示手段を用いて段階的な表示態様の变化により、前記有利状態に制御される期待度
を示唆可能な示唆表示を表示する示唆表示演出手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を
備え、

前記示唆表示演出手段は、前記示唆表示を一旦消去した後に再度表示することが可能であ
り、前記示唆表示を再度表示するときに、一旦消去する前に実行された特定演出が再度実
行された後、一旦消去する前よりも前記有利状態に制御される期待度が高い段階に変化し
た前記示唆表示を表示することが可能であり、

前記可変表示演出手段は、前記示唆表示が一旦消去された状態において、前記演出識別情
報を継続して可変表示し、

前記示唆演出実行手段は、前記示唆演出として、前記有利状態に制御されることを報知す
る特別示唆演出を実行可能であり、

前記特別示唆演出として、第 1 特別示唆演出と、該第 1 特別示唆演出と演出態様が異なる
第 2 特別示唆演出と、を含む、
ことを特徴としている。

(1) 遊技者にとって有利な有利状態 (大当り遊技状態等) に制御可能であるとともに
、遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値 (例えば、 1 ~ 6) のうちいずれかの設定
値に設定可能な遊技機 (パチンコ遊技機 1 等) であって、

段階的な表示態様 (数値表示およびレベル表示等の段階的な表示態様) の变化により、前
記有利状態に制御される期待度を示唆可能な示唆表示 (図 8 - 4 等の示唆表示 1 1 1 F 0
0 1 等) を表示する示唆表示手段を備え、

前記示唆表示手段は、前記示唆表示を一旦消去した (図 8 - 4 (J) 等) 後に再度表示す
る (図 8 - 4 (M) 等) ことが可能であり、前記示唆表示を再度表示するときに、一旦消
去する前 (図 8 - 4 (I) のような 8 0 % 等) よりも前記有利状態に制御される期待度が
高い段階に変化した前記示唆表示 (図 8 - 4 (M) のような 1 0 0 % 等) を表示すること
が可能であり (図 8 - 4 (M) のような 1 0 0 % 等) 、

さらに、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出 (例えば、チャンスアップ演出) を実
行可能な示唆演出実行手段 (例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が図 1 0 - 2 に示すチャン
スアップ演出決定処理を実行した後に可変表示中演出処理を実行する部分) を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記示唆演出として、前記有利状態に制御されることを報知す
る特別示唆演出を実行可能であり (例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 がチャンスアップ演
出をパターン CU - 3 やパターン CU - 4 で実行する部分) 、前記特別示唆演出として、
第 1 特別示唆演出と該第 1 特別示唆演出とは演出態様が異なる第 2 特別示唆演出とを実行
可能であり (例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 がチャンスアップ演出をパターン CU - 3
とパターン CU - 4 とで実行可能な部分) 、

前記有利状態に制御されるときに前記第 1 特別示唆演出を実行する割合は、設定されてい
る設定値にかかわらず同一割合であり (例えば、図 1 0 - 4 (A) に示すように、パター
ン CU - 3 の決定割合はパチンコ遊技機 1 に設定されている設定値にかかわらず 1 0 % で
ある部分) 、

前記有利状態に制御されるときに前記第 2 特別示唆演出を実行する割合は、設定されてい
る設定値に応じて異なる (例えば、図 1 0 - 4 (A) に示すように、パターン CU - 4 の
決定割合はパチンコ遊技機 1 に設定されている設定値に応じて異なる部分) 、
ことを特徴としている。

10

20

30

40

50